

家族で防災に取り組みましょう

災害はいつ起きるかわかりません。被害を最小限に食い止めるためには、日頃からの備えが大切です。この洪水・地震ハザードマップを活用し、いざというときのためにどう行動するかを家族で話し合っておきましょう。また、洪水・地震ハザードマップを片手に、実際に避難場所・避難所まで歩いてみて、避難時に危険な場所がないか確認しましょう。

- ①連絡方法の確認
- ②非常持出品・備蓄品の確認
- ③家の中や周辺の対策
- ④ハザードマップで避難の必要性を確認
- ⑤避難場所・避難所まで実際に歩いてみる

地域ぐるみで取り組む防災・減災

災害発生時には、大和高田市をはじめ、警察・消防などの防災関係機関が全力をあげて対応にあたりますが、火災や道路の寸断・断水・停電など様々な被害が広い範囲で起きた場合は、対応が非常に困難な事態が予想されます。このような場合には、地域ぐるみで協力し合い、助け合うことが大切になります。日頃から地域の自主防災組織を結成して、防災知識を身につけることや、いざというときの役割分担を決めるなどして、地域の防災力を高めておきましょう。



要配慮者(災害時要援護者)について

要配慮者とは、年齢や障がい、言葉の違いなどによって災害発生時の対応に何らかのハンデを負っている人々のことです。一般に高齢者や障がい者、乳幼児や妊産婦、日本語を十分理解できない外国人の方々などが該当します。地域で協力しあいながら、近所の要配慮者の安否確認、避難施設への移動を支援しましょう。

<p>高齢者・病人</p> <ul style="list-style-type: none"> ●おぶって安全な場所まで避難する。 ●複数の介助者で対応する。 	<p>目の不自由な方</p> <ul style="list-style-type: none"> ●声をかけ情報を伝える。 ●誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持ってもらい、半歩先をゆっくり歩く。
<p>肢体の不自由な方(車椅子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●階段では2人以上が必要。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。 ●介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、おぶって避難する。 	<p>耳の不自由な方</p> <ul style="list-style-type: none"> ●話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。 ●手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。

非常持ち出し品・備蓄品の準備

災害の危険が迫っているときは、すぐに避難しなければいけません。避難する場合に備えて、リュックサックなどに必需品をまとめ、持ち出しやすい場所に保管しておきましょう。



非常持ち出し品 避難する場合に備えて、リュックサックなどにまとめて持ち出しやすい場所に保管しておきましょう。

食料	救急・安全対策	貴重品
<input type="checkbox"/> 飲料水(1人1日2~3リットルを目安) <input type="checkbox"/> 非常食(缶詰、乾パン、レトルト食品など) <input type="checkbox"/> 携帯食(チョコレート、キャンディーなど) <input type="checkbox"/> 粉ミルク、液体ミルク、哺乳瓶(赤ちゃんがいる場合)	<input type="checkbox"/> 常備薬(胃腸薬、かぜ薬など) <input type="checkbox"/> 包帯、ガーゼ、ばんそうこう <input type="checkbox"/> 傷薬、消毒薬 <input type="checkbox"/> 持病のある方の薬、お薬手帳 <input type="checkbox"/> ヘルメット、防災ずきん <input type="checkbox"/> ホイッスル	<input type="checkbox"/> 現金(小銭) <input type="checkbox"/> 預貯金通帳、印鑑 <input type="checkbox"/> クレジットカード類 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> マイナンバーカード、免許証など(本人確認できるもの)
衣類など	日用品など	
<input type="checkbox"/> 衣類(厚手の物と薄い物) <input type="checkbox"/> 下着類 <input type="checkbox"/> タオル、毛布 <input type="checkbox"/> 手袋、軍手 <input type="checkbox"/> 寝袋 <input type="checkbox"/> 雨具	<input type="checkbox"/> ポリ袋(ビニール袋) <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> ろうそく、ライター <input type="checkbox"/> ナイフ、缶切り <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ <input type="checkbox"/> 懐中電灯(予備電池)	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(予備電池) <input type="checkbox"/> 携帯電話(充電器・バッテリー) <input type="checkbox"/> 筆記用具(油性マジック) <input type="checkbox"/> 洗面用具 <input type="checkbox"/> メガネ <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ
		<input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 布ガムテープ <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> 地図(ハザードマップ)

備蓄品 日頃から、一週間分の食料と飲料水を備蓄品として常備しておきましょう。

食料	燃料・日用品など	
<input type="checkbox"/> 飲料水(1人1日3リットルを目安) <input type="checkbox"/> 米(レトルトのご飯なども便利) <input type="checkbox"/> 缶詰、菓子類 <input type="checkbox"/> 粉ミルク、液体ミルク、離乳食	<input type="checkbox"/> カセットコンロ <input type="checkbox"/> 予備のガスボンベ <input type="checkbox"/> 毛布、寝袋 <input type="checkbox"/> ブルーシート	<input type="checkbox"/> 割り箸 <input type="checkbox"/> 衣類 <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> 簡易トイレ <input type="checkbox"/> 布製ガムテープ <input type="checkbox"/> キッチン用ラップ <input type="checkbox"/> なべ

備蓄 ▶ 消費 ▶ 補充 を繰り返す

ローリングストック(循環備蓄)を心がけましょう

ローリングストック(循環備蓄)とは、普段から使用する食材、加工品を多めに買って置き、使ったら使った分だけ買い足していくことで、常に一定量の食料を家庭に備蓄しておく方法のことを言います。この備蓄方法を行うことで、いざというときにも日常生活に近い食生活を送ることができます。